

よりよい指導者を目指して

名古屋市教育センター
指導主事 伊藤禎康

指導のゴール

研究の楽しさを実感させる

➤ 講じた手立てで子どもたちが伸びること

- ・素材研究ができる
→取り上げるものを理解することができる
- ・教材化できる
→単元との関わりを理解することができる
- ・指導法が分かる
→何をどのように教え、考えさせるのかができる
- ・評価できる

論理的な文章を書けるようにさせる

➤ 書くことは、読むこと、話すこと以上に難しい

- ・実践の視点は明確か
- ・指導方法や手立てに工夫が見られるか
- ・論旨が明確か
- ・子どもの成長の変容や姿が表れているか
- ・用語、用事等の表記に誤りはないか
- ・主語は明確で、述語と対応しているか
- ・図表や写真等が見やすく効果的に活用されているか

学習指導要領より

小学校 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

中学校 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、

広い視野に立ち、

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

学習指導要領より

小学校 社会科の目標 資質・能力(1)

地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、

様々な資料や調査活動を通して情報を適切に

調べまとめる技能を身に付けるようにする。

中学校 社会科の目標 資質・能力(1)

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、

調査や諸資料から様々な情報を効果的に

調べまとめる技能を身に付けるようにする。

学習指導要領より

小学校 社会科の目標 資質・能力(2)

社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

中学校 社会科の目標 資質・能力(2)

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

学習指導要領より

小学校 社会科の目標 資質・能力(3)

社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての**自覚などを養う。**

中学校 社会科の目標 資質・能力(3)

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての**自覚などを深める。**

「見方・考え方」について

イメージ	解説【見方→視点、考え方→思考】
<p>学びエネルギー(燃料)</p> <p>学びに向かう力・人間性等</p> <p>達成感・成就感 社会生活に生かされる 見方・考え方</p> <p>興味や関心 問題意識 解決へ意欲</p> <p>概念や、より高度な技能の獲得・習熟</p> <p>知識・技能</p> <p>見方・考え方</p> <p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>学びボディ(躯体)</p> <p>知識・技能の活用</p> <p>学びエンジン(動力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 授業改善の一側面 ➤ 教師が意図的に仕掛けるもの <ul style="list-style-type: none"> →子どもたちに自覚させる必要はない →資質・能力ではないから評価することもない ➤ 教師にとっての「見方・考え方」 <ul style="list-style-type: none"> →教材化の視点 →問い、資料、教材に表れる概念 ➤ 子どもにとっての「見方・考え方」 <ul style="list-style-type: none"> →「問い」として残る

教材化について ~教科書と教師用指導書より~

学習の進め方

学習問題をつくり、
学習の進め方を確認しよう。

つかむ

気づいたことや
疑問に思ったことを
話し合い、学習問題を
つくろう。

川の豊かな水を、農業
に生かしているのではな
いかな。

川の水面よりも低
い土地が多いので、
水害が多いのではな
いかな。

昔から堤防をつくるなど、
水害からくらしを守る取組
みをしてきたのではないかな。



川の水辺で遊ぶと
ころがたくさんある
のではないかな。

みんなて
つくった
学習問題

学習問題

大きな川に囲まれた海津市に住む人々のくらしや
産業には、どのようなふうがあるのでしょうか。

学習問題について
予想し、何について
調べるかを話し合っ
てみましょう。



学習問題 について予想しよう

- 堤防以外にも、水からくらしを守るくふうがあるのではないかな。
- 水が豊富なので、米づくりなどの農業がさかんなのではないかな。
- 川の水を生かして、水辺などで楽しむところもあるのではないかな。

調べること

- 水害からくらしを守るくふう…輪中の歴史と水害防止の取り組み
- 低い土地での水を生かしたくらしや産業のくふう…農業を中心とした水の生かし方

活用のポイント

このマークを活用して
社会科の学習を進めよう。

海津市の地形は、
どのようになっている
のかな。



ドラえもんが目印です。

位置や広がりに着目

- どのような場所にあるのかな。
- どのように広がっているのかな。

時間に着目

- いつごろ始まったのかな。
- どのように変わってきたのかな。

かわりに着目

- どのようなつながりがあるのかな。
- どのようなふうがあるのかな。
- どのように協力しているのかな。

比べる、分類する、総合する、関連づける

- ちがいがあがるか比べてみよう。
- いくつかの種類に分類してみよう。
- 学習したことを総合したり、関連づけたりしてみよう。

調べる

いろいろな方法で
調べよう。

調べ方

みんなで協力して
調べよう。

教科書を使って調べる

- 見出しを見て、関係がありそうなところの本文を読む。
- 特に、その土地の人が話していることから、くふうや努力、思いや願いなどを読み取る。
- 写真、地図、グラフや表などの資料からも、必要な情報を読み取る。

教科書以外で調べる

- 海津市や、市の資料館などのホームページで調べる。
- 現地の人や関係する人などに、メールや電話でたずねる。たずねるときには、失礼のないよう、ていねいな言葉で質問する。



ふり返ろう

- 学習内容をふり返り、それぞれの時間で調べたことを整理しよう。

いかす

学習したことを次の
学習や生活にいかそう。

- 学習したことをもとに、自分の生活の中でできることを考えたり、しょうらいに向けた提案をしたりしてみよう。
- 学習したことをもとに、ほかの学習(ひるがるのページなど)にも目を向けてみよう。

まとめる

調べてわかったことや
考えたことをまとめよう。

- 調べてわかったことや考えたことをまとめてみよう。
- 友だちと話し合ったり、まとめたりするときには、教科書の(こ)と(は)を生かそう。

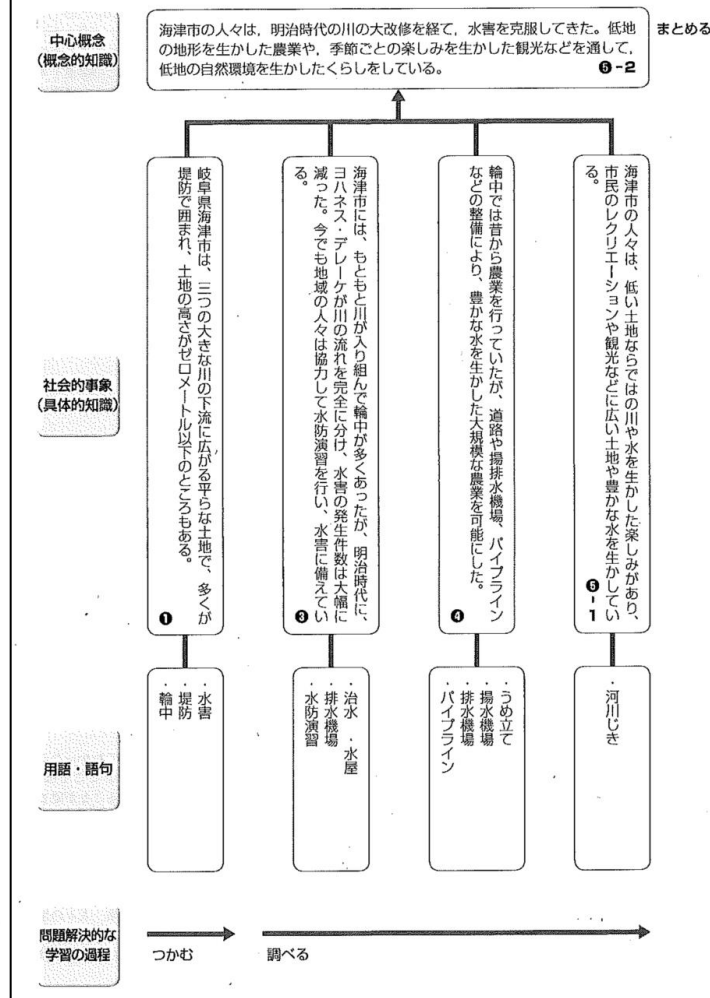
まとめ方

- 予想をもとに、調べたことや考えてきたことをノートに整理する。
- 友だちと、調べたことや疑問に思ったことなどを意見交かんする。
- 調べてわかったことと自分が考えたことを分けて書くようにする。

ふり返ろう

- 自分の調べ方と友だちの調べ方を比べてみよう。
- 自分の予想がどうだったか、確かめてみよう。
- よりよい調べ方やまとめ方について考えてみよう。

【知識の構造図】



「資質・能力」の示し方について

新 学習指導要領

[A = 学習のテーマ] について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) [B = 知識 (理解させたい事柄)] を理解すること。

(イ) [C = 調べる技能] などで調べて、[D = まとめ方の技能] などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) [X、Y、Z = 調べる視点] などに着目して、[E = 調べる活動を通して捉えさせたい事実] を捉え、[F = 考えさせること] を考え、表現すること。

従前 学習指導要領

[A = 学習のテーマ] について、
次のことを [B = 学習の仕方] して調べ、
[C = 考えさせること] を考えるようにする。

ア [D = 調べる具体的な対象]

「資質・能力」の示し方について

新 学習指導要領

[A = 学習のテーマ] について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) [B = 知識 (理解させたい事柄)] を理解すること。

(イ) [C = 調べる技能] などで調べて、[D = まとめ方の技能] などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) [X、Y、Z = 調べる視点] などに着目して、[E = 調べる活動を通して捉えさせたい事実] を捉え、[F = 考えさせること] を考え、表現すること。

従前の言い回しにすると…

[A] について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、

[X、Y、Z] などに着目して、

[C] などで調べて、[D] などにまとめ、

[E] を捉え、

[F] を考え、表現することにより、

[B] を理解する。

「資質・能力」の示し方について

授業づくりのキーワード

- ～を通して…する。
- ～に着目して…する。
 - ～によって ～することにより
 - ～して ～に基づいて
- 手段と目的が明確になっていること

計画書や指導案を読むと…

- ✓ ～して話し合う。
- ✓ ～を調べる。
- ✓ ～まとめる。
- 手段が目的化している？

これまでに…



記述や発言では…

- 話し合いをする
- 見いだす
- 立場
- 考えを広げる
- 比較する
- 知識

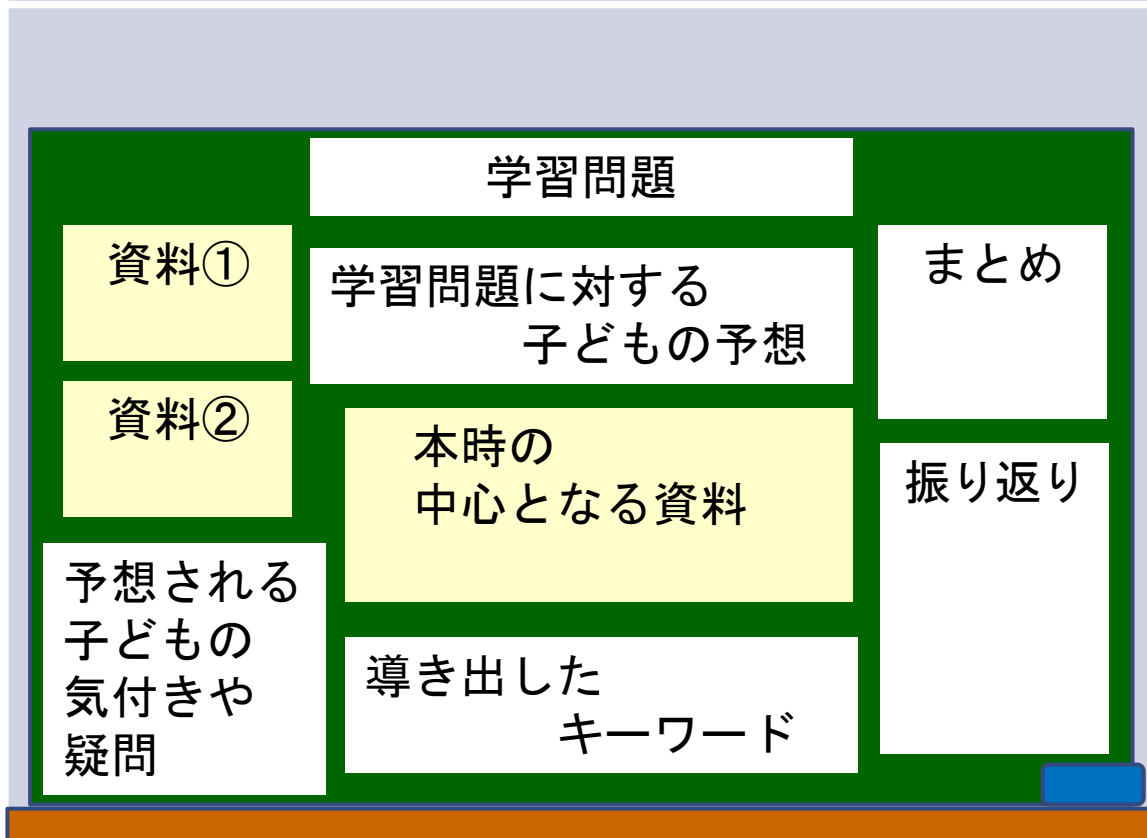
実際には…

- ✓ 発表し合う
- ✓ 教師が説明する
- ✓ 考えの違い
- ✓ 「正解」まで問い続ける
- ✓ 友達の考えを写す
- ✓ 思考

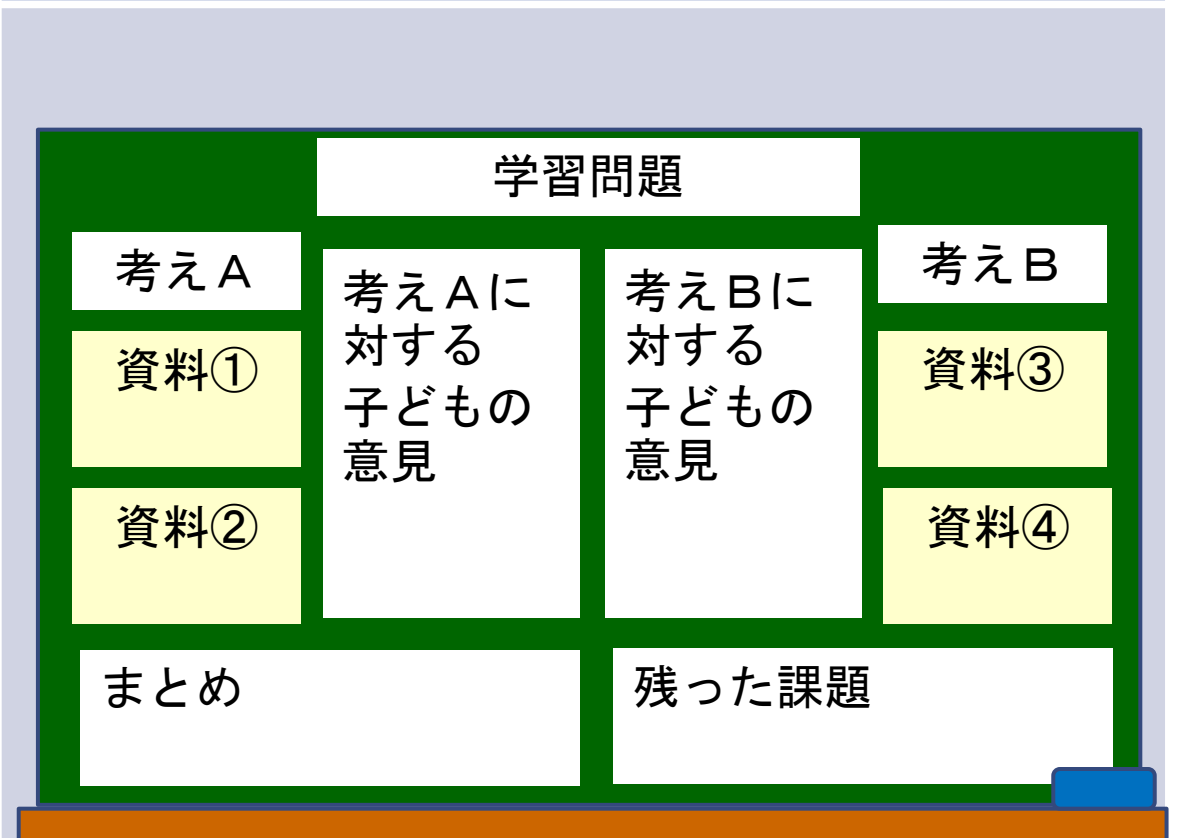
板書



理解を意図した板書例



判断を意図した板書例



指導者として



質問する

「質問」とは… **問い質す（問いただす）**

- ・ テーマ
 - 課題性
 - 社会科としてふさわしいか？
- ・ 子どもの姿
 - 資質・能力との関わり
- ・ 手立て
 - 課題を解決するものか？
 - 工夫は何か？
- ・ 考察、分析
 - 評価基準は？
数より内容で
 - 個と全体の関係

見る

授業を見る

- ・ 録画したビデオ
- ・ 板書の写真
- ・ 子どもが書いたプリントのコピー

今後に向けて



第3期名古屋市教育振興基本計画p.9

第3期名古屋市教育振興基本計画p.17

持続可能な開発目標(SDGs)



出典:国際連合広報センターのウェブサイト

~ Challenge & Change ~
公教育の構造転換を
【画一的な一斉授業】から

↓

一人ひとりの子どもを大切にしたい教育の実現のために
【個別化・協同化・プロジェクト型学習】へ

自ら問いをもつ (なげ?)

主体的に探求する

ICT機器も活用

異年齢交流

対話や教え合い

先生はサポート

☆1-2 画一的な一斉授業からの転換を進める授業改善
☆1-4 小・中学校における理数教育の推進
☆1-5 ICTを活用した教育の推進
☆1-11 市立高等学校における学びのあり方改革

*イラスト内に記載されている数字(例:☆1-2など)は、関係する事業番号(施策ことしの通し番号)を表しています。

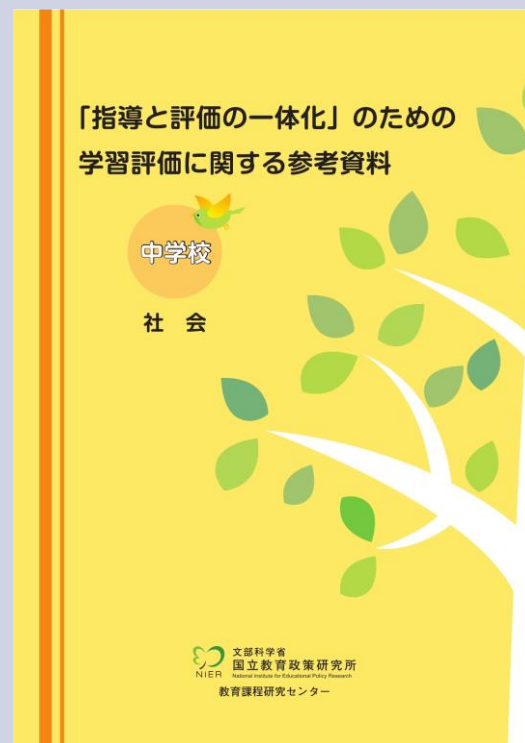
今後に向けて



文部科学省国立教育政策研究所

学習評価の意義

➤ 指導と評価の一体化



- ①児童生徒の学習改善につながるもの
- ②教師の指導改善につながるもの

→主体的に学習に取り組む態度

- ・「自らの学習を調整しようとする側面」

自己評価、相互評価だけでなく
★子どもが学習のPDCAを回す
★メタ認知

→学習内容だけでなく、学び方も指導

→学習評価の授業化